

第25回市町村議会 議員研修会 in 横浜

3月議会を前に、 そもそもから学ぶ



社会保障第一弾!

2014年2月12日 **水**～13日 **木**

かんざい
関内新井ホール 定員180名

横浜市中区尾上町1-8 関内新井ビル11F TEL045-681-6763



1日目 2月12日(水) 13:30～17:00

記念講演 ● 基礎から学ぶ社会保障制度の新展開

横山 壽一氏(よこやま・としかず／金沢大学教授)

社会保障制度改革推進法は、これまでの社会保障の理念・原則とは似て非なるものになってしまっているのではないか、ということが危惧されています。その根本的な相違点と本来のありかたを、社会保障の歴史と理論形成の歩みを踏まえて明らかにします。

実践報告 ● 困窮者の生活支援をすみやかに

藤田 孝典氏(ふじた・たかのり／NPO法人ほっとプラス代表理事)

格差と貧困が広がり、生活保護受給世帯と生活困窮者の増加がとまりません。なかでも若者を取り巻く環境には厳しく、ブティック企業による搾取や非正規雇用の拡大によって安定した生活が営めず、ホームレス化する人も現れています。近年の政策動向とともに対策を考えます。



2日目 2月13日(木) 9:00～14:50

第1講 ● 介護保険の改定と自治体の課題

服部 万里子氏(はっとり・まりこ／服部メデイカル研究所所長)

介護保険制度が始まり14年が経過しました。2回の法改正、4回の制度改正後の介護保険の現状と課題を確認します。要支援の地域支援事業への移行に関する課題、地域包括ケアと市民サービスの变化、医療・介護改革の市民への影響と市町村の取り組みに関して提案します。



第2講 ● 子ども・子育て支援新制度の実施を前に

杉山 隆一氏(すぎやま・りゅういち／佛教大学教授)

政府は、子ども・子育て支援新制度の実施に向けて準備を進めています。新制度は現金給付を基本に市町村が実施の主体となります。市町村の保育の公的責任はどうなるのか、新制度の問題となる点および改善と留意すべき点について考えます。



第3講 ● そもそも仕組みから学ぶ高い国保料

神田 敏史氏(かんだ・としふみ／自治体職員)

市町村国保の保険料負担は、多額の一般会計繰入をしても組合健保や共済の2倍、協会けんぽの1.4倍です。法令に見る保険料率算定の仕方とともに負担軽減策、そして都道府県が財政運営責任を負うなかでどうなるかを学びます。

